

## 平成 30 年度上半期消費生活相談状況の概要

### 1 件数 ⇒ 増加

県内の相談窓口に寄せられた相談件数は、県、市町合わせて 5,174 件。(前年同期比 912 件、21.4%の増加)

特に、市町窓口受付分が、775 件(28.6%)の大幅増。

### 2 年代 ⇒ 50 歳代以上の方からの相談が増加

70 歳以上からの相談が 1,264 件(24.4%)と最多、次いで、60 歳代、50 歳代の順。50 歳代以上の年代は、いずれも前年同期に比べて増加。

### 3 内容等 ⇒ 架空請求を含む「商品一般」が大幅に増加

(1) 商品・役務別では、架空請求はがきを含む「商品一般」が、前年同期比 3.55 倍の 1,621 件(31.3%)と大幅に増加。

(2) 架空請求だけを見ると、1,499 件となり、9 月末までの半年間で、既に、大幅に増えた昨年度の年間件数(2,297 件)の 65.3%。

(3) 資金運用の配当等を謳う、「株、公社債及びファンド型投資商品」が、平成 29 年度から増加傾向にあり、9 月末までの半年間で、既に、昨年度の年間件数(79 件)を上回る 84 件。